

# EPSA(エプサ : Enhanced Private Sector Assistance for Africa) アフリカの民間セクター開発のための共同イニシアティブ

- アフリカの民間セクター開発を包括的に支援し、経済成長・貧困削減を促進。
- 2005年のG8グレンイーグルズ・サミットにおいて発表。EPSA1(2005～2011)、EPSA2(2012～2016)に続き、今般、EPSA3(2017～2019)を発表。

日本・AfDB共同で、3年で30億ドルの資金協力(注)  
高効率石炭火力特別枠3億ドルと合わせ、33億ドルを超える規模の資金協力

## ① 政府向け円借款(ACFA)

Accelerated Co-Financing Facility for Africa

◆ アフリカ開発銀行との協調融資。

### ◆ 重点分野

- 電力・道路などのインフラ(高効率石炭火力を含む)
- 保健・栄養不良

## ② 現地民間企業向け 長期資金の供給(NSL)

Non-Sovereign Loans

◆ アフリカ開発銀行が民間企業向けに行う出融資の原資として円借款を供与。

◆ 開発効果の高い事業案件に重点化。

## ③ 経営指導など民間企業 の能力構築(FAPA)

Fund for African Private Sector Assistance

◆ アフリカ開発銀行内に設けた信託基金経由による技術協力。

◆ アフリカ開発銀行が行う、民間企業向けの出融資案件と連携。

(注)EPSA2では、日本単独で、5年で20億ドル(年平均4億ドル)の目標。EPSA3では、アフリカ開発銀行と共同で、3年で33億ドル超(うち日本側18億ドル)の目標。日本側の年平均額は6億ドル(高効率石炭火力特別枠を除くと年平均5億ドル)。